

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公表番号】特表2004-511001(P2004-511001A)

【公表日】平成16年4月8日(2004.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-014

【出願番号】特願2002-517698(P2002-517698)

【国際特許分類】

G 0 2 B 1/10 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

C 0 8 G 65/333 (2006.01)

C 0 8 G 65/336 (2006.01)

C 0 9 D 5/16 (2006.01)

C 0 9 D 5/24 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 129/10 (2006.01)

C 0 9 D 171/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 1/10 Z

B 3 2 B 27/00 1 0 3

C 0 8 G 65/333

C 0 8 G 65/336

C 0 9 D 5/16

C 0 9 D 5/24

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 129/10

C 0 9 D 171/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月4日(2008.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 実質的に透明な基材と、結合剤母材中に分散されたアクリレート官能化無機酸化物粒子を含むハードコート層と、前記ハードコートの上のペルフルオロポリエーテルを含む防汚層と、を含むディスプレイ要素。

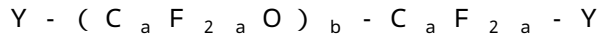
【請求項 2】 前記ハードコートが、フリーラジカル硬化結合剤中に分散されたコロイド無機酸化物粒子を含む、請求項 1 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 3】 前記コロイド無機酸化物粒子がコロイドシリカ粒子を含む、請求項 2 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 4】 前記結合剤が、1 つ以上の共重合性フリーラジカル硬化性モノマー、オリゴマー、ポリマーまたはそれらの組合せから誘導される、請求項 1 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 5】 前記結合剤が導電性ポリマーを含む、請求項 1 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 6】 前記防汚層が、式：



を有するペルフルオロポリエーテルから誘導され、式中、各 Y が、不規則に分布した $C_a F_{2a} O$ 反復単位の鎖に結合した重合性基を含み、各 a が独立に 1 ~ 7 であり、b がかかる反復単位の数であり、b が 1 ~ 300 の値を有し、前記ペルフルオロポリエーテルが約 500 ~ 約 20,000 の数平均分子量を有する、請求項 1 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 7】 前記ハードコート層が約 1 マイクロメートル ~ 約 100 マイクロメートルの厚さを有し、前記防汚層が約 0.005 ~ 約 2 マイクロメートルの厚さを有する、請求項 1 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 8】 実質的に透明な接着剤層を更に含む、請求項 1 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 9】 パーソナルデジタルアシスタント、携帯電話、タッチセンシティブスクリーン、腕時計、カーナビゲーションシステム、広域測位システム、測深機、計算機、電子ブック、CD プレーヤ、DVD プレーヤ、プロジェクションテレビスクリーン、コンピュータモニタ、ノートブックコンピュータディスプレイまたは計器を更に含む、請求項 1 に記載のディスプレイ要素。

【請求項 10】 結合剤母材中に分散された アクリレート官能化無機酸化物粒子 を含むハードコート層と前記ハードコートの上のペルフルオロポリエーテルを含む防汚層とをその少なくとも一方の面上に有する可撓性の略平面基材を含む、防汚ハードコートフィルム。

【請求項 11】 ディスプレイ要素の作製方法であって、フリーラジカル重合性結合剤母材中に分散された無機酸化物粒子を含む硬化性ハードコート層を実質的に透明な基材上に適用する工程と、前記ハードコート層を硬化する工程と、ペルフルオロポリエーテルを含む硬化性防汚層を前記ハードコート層に適用する工程と、前記防汚層を硬化する工程と、を含む方法。

【請求項 12】 前記無機酸化物粒子がアクリレート化されている請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】 前記ハードコート層が 1 ~ 100 マイクロメートルの範囲の厚さを有する、請求項 10 に記載の防汚ハードコートフィルム。

【請求項 14】 前記防汚層が前記ハードコート層上に被覆される、請求項 10 に記載の防汚ハードコートフィルム。